

特集1 モバイルWiMAXシステム Special Issues 1 Mobile WiMAX System



執行役員 通信インフラ事業部長

窪田 昌治
Shoji Kubota
Executive Officer
Communications
Networks Division

日本無線のモバイルWiMAX*1 システム開発の取り組み

Mobile WiMAX System Development in JRC

現在の移動体通信は、ブロードバンド化に向けた取り組みが急速に進んでいます。モバイルWiMAXは、ブロードバンド通信方式のひとつとして、大変有望視されています。

JRCでは、WiMAX基地局装置をはじめとして、基地局監視システムであるEMS、加入者管理を行うCSN-Lite*2などのサーバソフトウェアや、さまざまな利用シーンに対応できる屋外設置型端末装置を開発してきました。

日本国内におけるWiMAXを採用した通信事業は、全国規模で展開するUQコミュニケーションズ株式会社(以下UQC)と、市町村ごとに地域独自の事業者が運用する地域WiMAXとの2つに大別されます。UQCは2009年7月から本格的サービスを開始しモバイルブロードバンドの全国展開がはじまり、また地域WiMAXは各地域におけるビジネス活性化や住民の利便性の向上につながるものとして大きな期待がよせられています。

JRCが提供するWiMAXソリューションは、地域WiMAXとして事業を進められているケーブルテレビ事業者様に対して、スモールスタートのためのコンパクトなシステムをご要望の事業者様から、大規模モバイルシステムへ展開をされる事業者様まで、幅広くご採用いただいております。

本技報においては、JRCが開発した以下のWiMAX関連の技術の成果をご紹介します。

- (1) 日本無線のモバイルWiMAXシステム
- (2) モバイルWiMAX基地局装置
- (3) モバイルWiMAX基地局管理システム (EMS)
- (4) モバイルWiMAX加入者管理システム (CSN-Lite)
- (5) モバイルWiMAX屋外設置型端末装置
- (6) モバイルWiMAX小型通信モジュール

JRCは、ここにご紹介しました技術をさらに高度化及び高機能化することで、次世代モバイルブロードバンドのソリューションとして有望なモバイルWiMAXのテクノロジーの開発、ビジネス展開を今後も推進します。

*1 「WiMAX」は、WiMAXフォーラムの商標です。

*2 「CSN-Lite」は、当社の登録商標です。